



株式会社ヤマグチマイカ

2018年度CSRLレポート

対象期間 : 2018年4月～2019年3月

1. トップメッセージ

2018年度は、当社にとって大きな変化、今後に向けた進展がありました。

CSR経営の観点から、BCP(事業継続計画)への取り組みは重要です。自然災害のリスクや、今後の需要増加という機会に備えるため、2017年には愛知県新城市に工場用地を取得しました。そして、2018年4月に工場が完成し、2018年9月から稼働を開始することができました。

新設した新城工場は山間部の工業地域にあり、敷地面積は既存3工場の合計分の1.6倍にもなります。新城工場を将来の主力として、当社は事業の継続・拡大を図るとともに、今まで以上に社会的責任を果たすべく活動する所存です。

2019年度も、当社の従業員ならびにサプライチェーンの皆様とともに、未来に向けて持続可能な社会作りに貢献します。

株式会社ヤマグチマイカ 代表取締役

山口卓巳



2. 会社概要

会社名	株式会社ヤマグチマイカ
所在地	本社工場:愛知県豊川市、豊橋工場:愛知県豊橋市、 豊橋第二工場:愛知県豊橋市、 新城工場:愛知県新城市 協力工場:インド アンドラプラデシュ州、中国 河北省
創業(設立)	1951年4月(法人設立1960年8月)
資本金	4,760万円
年商	13.5億円(2018年9月決算)
生產品目	湿式粉碎マイカパウダー、乾式粉碎マイカパウダー、 湿式粉碎タルクパウダー、フォトクロミック顔料、 各種処理(表面処理、熱処理、マイカ造粒など)
従業員数	75名(2019年3月時点、非正規社員含む)
生産量	湿式粉碎品:3,000t/年、乾式粉碎品:1,000t/年、 その他(処理品など):200t/年
主な販売市場	プラスチック、化粧品、塗料、ゴム

3. 会社沿革

- 1951年 愛知県豊橋市で創業 マイカパウダーの生産を開始
- 1954年 愛知県宝飯郡小坂井町(現在の豊川市)に移転
- 1960年 「株式会社山口雲母工業所」 設立
- 1988年 豊橋工場新設
- 2003年 豊橋第二工場新設
- 2004年 ISO9001認証取得(LRQA)
- 2005年 インド協力工場にて湿式粉碎品の生産開始
- 2006年 中国協力工場にて乾式粉碎品の生産開始
- 2009年 インド協力工場にて乾式粉碎品の生産開始
- 2010年 「株式会社ヤマグチマイカ」 に社名変更
- 2016年 CSR経営導入、国連グローバル・コンパクト署名
- 2018年 新城工場新設、生産開始
- 2019年 豊橋第二工場を新城工場へ移設予定



本社



豊橋工場



豊橋第二工場



新城工場

4. CSR取り組み

ヤマグチマイカは、以下に示す国連グローバル・コンパクトの4分野10原則に賛同します。

人権	<p>原則1 企業は、国際的に宣言されている 人権の保護 を支持、尊重し、</p> <p>原則2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。</p>
労働	<p>原則3 企業は、組合結成 の自由と 団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、</p> <p>原則4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、</p> <p>原則5 児童労働の実効的な廃止を支持し、</p> <p>原則6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。</p>
環境	<p>原則7 企業は環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、</p> <p>原則8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、</p> <p>原則9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。</p>
腐敗防止	<p>原則10 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。</p>

ヤマグチマイカは、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、企業活動において具体的な取り組みを考え、実施します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



4-1. 企業統治

【2018年度実績】

- 全社員参加型のCSR活動の実施。
 - ・ 2018年9月の会社方針発表会にて、全社員に向けて経営トップ（代表取締役）により、CSR経営推進の意思表示をした。
 - ・ 紙削減キャンペーンを実施し、全社員の協力で目標の10%削減を達成できた。
 - ・ 地域の催事へ、ボランティアで初参加した。
- CSR推進委員会での進捗管理、マネージャー会議での報告の継続。
 - ・ 経営トップを含むCSR推進委員会を月1回開催し、進捗管理を実施した。
 - ・ マネージャー会議にて活動報告し、全社員へ展開を図った。

【2019年度予定】

- CSR経営と社内の各活動を関連付けして、全社員へ理解を促す。
- CSR推進委員会での進捗管理、マネージャー会議での報告の継続。

4-2. 人権

【2018年度実績】

- インドの原料サプライヤー1社に対して、2016年3月以来の第三者機関による再監査を2018年8月に実施(自社手配)。児童労働の無いことを確認。
- 上記と別のインドの原料サプライヤー1社に対して、第三者機関による監査を要請し、2019年1月～2月に実施。児童労働の無いことを確認。
- インドの原料採掘地域全体の児童労働撲滅を目指すNGO団体「Responsible Mica Initiative(RMI)」に加盟しており、現地の情報収集とともに当団体を通じた該当地域の児童労働の撲滅へ協力。

【2019年度予定】

- 原料サプライヤーへの自主監査実施に向けた監査システム構築を図る。
- インドの原料サプライヤーのうち数社に対して、第三者機関による監査の実施。
- NGO団体RMIの活動を通じた児童労働撲滅への協力。

4-3. 労働慣行

【2018年度実績】

- 働き甲斐の向上のため、個人目標管理シートの改訂を実施し運用開始。
- 働き甲斐の向上のため、評価制度を策定中。
- 2018年9月に就業規則を改訂し、副業・兼業を可能とした。
- 作業性向上・安全性向上を重点テーマとした改善を推進。
(59期の改善提案235件のうち約半数)

【2019年度予定】

- 働き甲斐の向上のための評価制度の運用開始。
- 安全衛生委員会の活動を、CSRの一つとして取り入れて、安全で健全な職場環境造りを推進する。

4-4. 環境

【2018年度実績】

- 「2018年 紙使用10%削減」キャンペーンを推進し、全社で取り組んだ結果、A4用紙で15,000枚(12%)の削減を達成できた。
- 社内文書の電子化を一部導入し、紙削減だけではなく、業務の効率化(文書の承認・回覧のスピードアップ)に大きな効果が得られた。
- 社内会議において、自動車での移動による燃料消費の削減、業務の効率化のために、新設した新城工場にテレビ会議システムを追加導入した。

【2019年度予定】

- 社内文書の電子化を更に推進して、紙削減、業務効率化を図る。
- 廃棄物の削減の検討。

4-5. 事業慣行

【2018年度実績】

- 「強制労働・児童労働の禁止」、「反社会的勢力との取引の拒絶」、「収賄の禁止」を明記した原料取引基本契約について、原料サプライヤーのうち8割程度と締結。

【2019年度予定】

- 全サプライヤーと原料取引基本契約書の締結を目指す。
- 当社が購入する全ての原材料や資材などについて、購買仕様書の締結を目指す。

4-6. 消費者課題

【2018年度実績】

- 当社が生産する全マイカ製品について、国内法規制に準じたGHSラベル表示へ変更した。
- 需要増対応およびBCPの観点から、新城工場を新設し、2018年9月から稼働した。
- 将来にわたる原料の安定調達のため、新規原料ソースを開拓し、継続購入開始。

【2019年度予定】

- 顧客ニーズを満たす製品開発の継続。
- 新規原料ソース開拓の継続。
- 会社全体の業務効率化に向けて、新城工場への集約化計画を策定し、顧客への説明を開始し理解を得る。

4-7. コミュニティ参画・開発

【2018年度実績】

- 豊川市小坂井地区の催事でのボランティア活動を実施。
- CSRに取り組む企業として、国連グローバル・コンパクトの参加や交流を継続。
- 人権関連のNGO「RMI」、NGO「ACE」の参加や交流を継続。
- 2018年7月、サプライヤーCSR情報プラットフォーム「EcoVadis」へ登録。
- サプライヤーCSR情報プラットフォーム「Sedex」の登録継続。
- 各種学術団体、産業団体などへの参加や交流の継続。

【2019年度予定】

- 新城地区の労務協議会への入会。
- 新城地区の高校生を対象にした企業説明会へ出展。
- NGOや地域のボランティアなどへの参加や交流。
- 当社CSR活動を広く理解してもらうため、ホームページでの情報公開。

5. CSRに関わる当社の所属団体

- 国連グローバル・コンパクト
- Sedex
- EcoVadis
- NGO「RMI (Responsible Mica Initiative)」
- NGO「ACE」

6. 当社のCSR情報の開示について

ヤマグチマイカは、CSRレポートを毎年3月に更新し、当社ウェブサイトで公開します。

7. 当レポートの内容に関するお問い合わせ先

部署	株式会社ヤマグチマイカ 企画部
担当者	CSR推進担当 伊藤もしくは西田
メールアドレス	csr@ymsc.co.jp
TEL	0533-72-2188
FAX	0533-72-5157